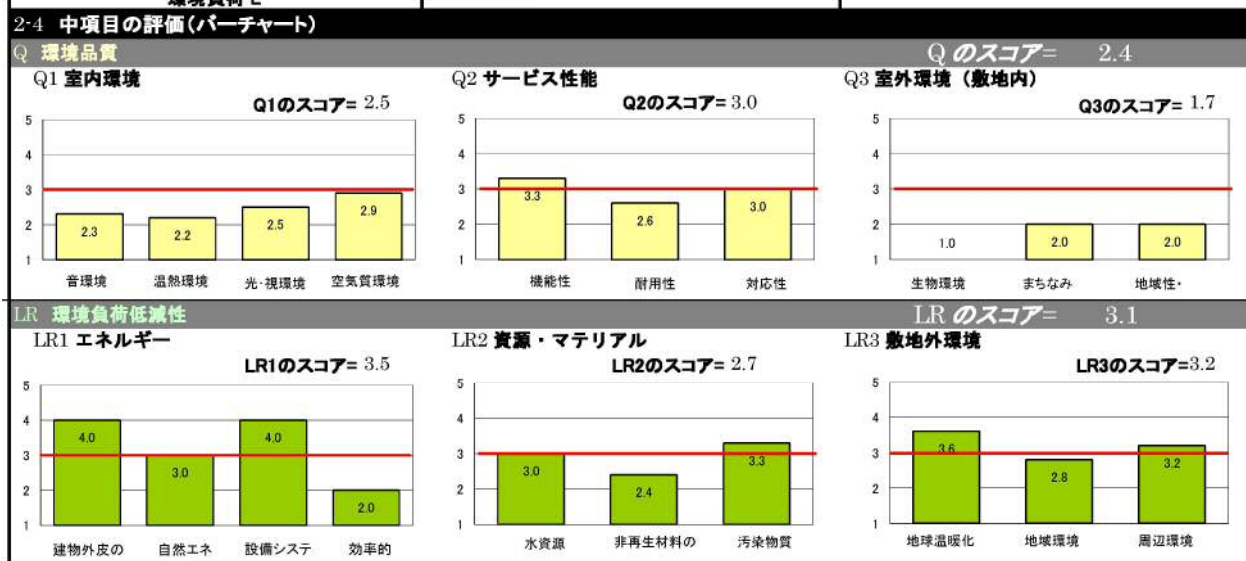


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラクス広沢レジデンス新築	階数	地上4F
建設地	静岡県浜松市中区広沢一丁目252番地	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	60 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年4月6日
敷地面積	2,135 m ²	作成者	楠竹下
建築面積	2,515 m ²	確認日	
延床面積	2,515 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
これはCASBEE静岡(2014年版)による評価結果です。 建物内部は利用者の健康・快適さ、外部は環境配慮を重視した設計になっている。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 高い昼光率および自然換気性能有し、利用者の健康に配慮した計画を行っている。	Q2 サービス性能 個室18m ² /床および天井高さ2.5mにより、開放感および空間にゆとりのある計画となっている。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用による資源の浪費を抑えている。	LR3 敷地外環境 建物の高さや形状を考慮することで風通しを良くし、敷地外への熱的影響を低減

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される